

「家蜘蛛」とはどんなクモか？

関根 幹夫

What kinds of spider species are "Ie-gumo"?

Mikio Sekine

はじめに

近年ネット上では、「家蜘蛛」という語が使われている。「家蜘蛛」とは、家の中に出現するクモのことを意味する語であり、辞書には掲載されていないが俗語として使われている。また、クモは虫を捕ってくれる益虫であるから「家蜘蛛は殺すな」との成句もネット上で目にする。このことは現代人の「クモ観」の一端を示す事例として興味深い。ところで、「家蜘蛛」とは具体的にどんなクモを指し示しているのかは明確ではなく、今までに「家蜘蛛」に関する報文もない。そこで、本研究では、「家蜘蛛」という語が指し示すクモが一般にどんなクモとして認識されているのかについて検討した。

方法

特定のキーワードが Google (グーグル) や Yahoo (ヤフー) などのサーチエンジンで検索された回数をサーチエンジンの検索数という。高田 (2021) は、検索数という指標は社会の世相や人々の精神活動の動向を定量的に示す指標となりうると指摘した。本研究では、高田 (2021) による文化昆虫学の客観的・定量的な研究手法として Google 検索数を指標とする方法を用いた。

「家蜘蛛」という語が現在どの程度検索されているのかを調べるため、株式会社ディーボが提供する「aramakijake.jp」(URL:<https://aramakijake.jp/> 2022年1月17日参照) を用いて、「家蜘蛛」というキーワードの月間推定検索数を求めた。

検索数の変動と「家蜘蛛」という語がいつごろから検索されるようになったのかを調べるため、Google トレンド (URL:<https://trends.google.co.jp/trends/?geo=JP> 2022年1月17日参照) により、「家蜘蛛」というキーワードの Google 検索数の 2021年1年間の相対検索数の推移と、2004年1月からの相対検索数の推移を調べた。

また、「家蜘蛛」という語の検索数が他の昆虫と比べて多いのか否かについて、生物学的な意味合いで関心を集めるだけでなく象徴的な意味合いなどからも関心を集めているとされる「ほたる」を検索語に選定し (Takada 2011)、「家蜘蛛」の検索数と比較した。これは、電子掲示板上で参加者同士が知識や知恵を教え合うナレッジコミュニティ、知識検索サービスである Yahoo!知恵袋 (URL:<https://chiebukuro.yahoo.co.jp/> 2022年1月17日参照) における「家蜘蛛」と「ほたる」の Q&A 数を調べるという方法により行った。

さらに、「家蜘蛛」という語が指し示すクモが一般にどのような種類のクモと認識されているのかを調べるため、Google 画像検索 (URL: <https://www.google.co.jp/imghp?hl=ja> 2022年1月17日参照) を用いて、「家蜘蛛」というキーワードにより検索し、検索された上位40件の画像のクモの種類を同定し、頻度分布にまとめた。

結果

「家蜘蛛」というキーワードの月間推定検索数は、Yahoo!Japan で1,980件、Google で7,920件であった。Google 検索数の2021年1年間の相対検索数の推移を図1に示した。夏に検索数が多い傾向が見られた。また、Google 検索数の2004年1月からの相対検索数の推移を図2に示した。「家蜘蛛」という語は、2004年にはすでに登場しており、2015年頃から増加傾向にあることが分かった。

Yahoo!知恵袋の全ジャンルでのQ&A数146,033,356件中、「家蜘蛛」で検索されたQ&A数は19,443件、「ほたる」で検索されたQ&A数は48,306件であり、「家蜘蛛」は「ほたる」の40.2%であった。

また、Google 画像検索により「家蜘蛛」というキーワードで検索された上位40件の画像のクモの種類を同定結果を表1に示した。検索された合計10種類(外国産の種とイラスト画を含む)のクモのうち、頻度が高かったのはアダンソンハエトリとアシダカグモであった。

表1. Google 画像検索でキーワード「家蜘蛛」で検索された上位40件の画像のクモの種類を同定結果。

アダンソンハエトリ	15	37.5%
アシダカグモ	15	37.5%
チャスジハエトリ	2	5.0%
ミスジハエトリ	1	2.5%
マミジロハエトリ	1	2.5%
ハエトリグモ科	1	2.5%
イエユウレイグモ	2	5.0%
オニグモ属の一種	1	2.5%
外国産の種	1	2.5%
イラスト画	1	2.5%
計	40	

考察

表1より、「家蜘蛛」という言葉が指し示すクモは、一般的にはアダンソンハエトリとアシダカグモであることが示唆された。イエユウレイグモも建物内で見られるクモであるが、「家蜘蛛」を指し示すとは結論付けられないであろう。また、チャスジハ

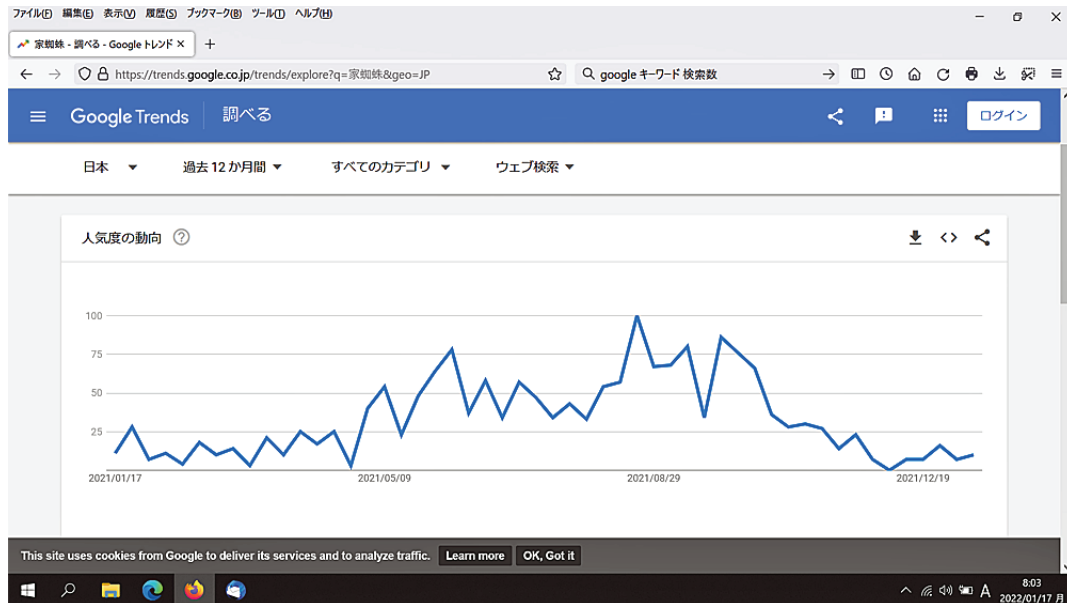


図 1. Google トрендでキーワード「家蜘蛛」の検索数（相対値）の推移を調べた結果（2021年）.

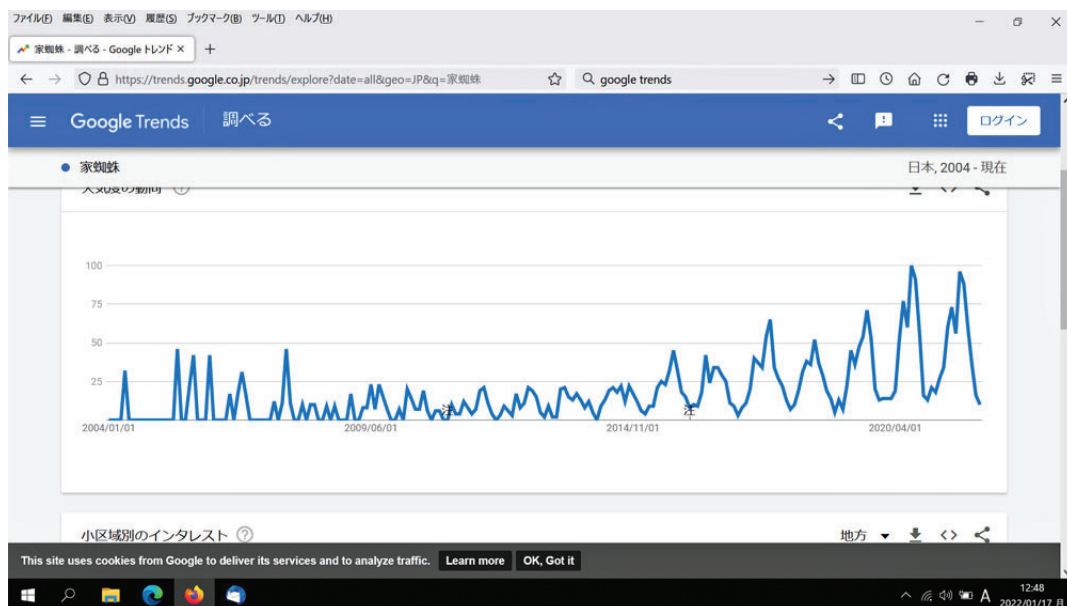


図 2. Google トрендでキーワード「家蜘蛛」の検索数（相対値）の推移を調べた結果（2004-2021年）.

エトリとミスジハエトリが「家蜘蛛」と認識されているかどうかについては検討が必要と思われる。

図 1 と図 2 より、「家蜘蛛」の検索数が夏に増えるのは、アダンソンハエトリの成体出現期が6～8月であることとアシダカグモの成体は一年中見られるが(新海 2017), 夏季に遭遇することが多いことによるものと考えられる。

Yahoo!知恵袋の Q&A 数で「家蜘蛛」が「ほたる」の 40.2%であることから、人々の「家蜘蛛」への関心は高いとみなすことができるだろう。また近年、「家蜘蛛」の検索

数が増加傾向にあることから（図 2）、「家蜘蛛」という言葉は定着しつつあることが示唆された。

引用文献

新海栄一 2017. 日本のクモ 増補改訂版. 文一総合出版, 東京, 407 pp.

Takada, K. 2011. Popularity of different lampyrid species in Japanese culture as measured by Google search volume. *Insects*, 2(3): 336–342.

高田謙太 2021. 令和新時代の文化昆虫学. Pp. 261–277. In: 保科英人（編著）. 「文化昆虫学」の教科書. 八坂書房, 東京.